



# ねずみっ子 だより

No. 9

きみはきみ ほかはほか  
でも仲よく



## 社会に適応していくために 人として共通の学びを通して 協調性を育む

家庭、地域、学校、会社など何らかの社会の中で私達は暮らしています。社会に適応するためには幼児期から集団生活を経験し、人として守らなければならない「**共通のルール**」を覚え、して良いことと悪いことの判断や、人に対する思いやりの気持ちなどの「**道徳性**」を学ぶことがとても大切です。ルールや道徳性が身につけば個性や考え方に違いがあっても、人を尊重することもでき、**協調性**が備わるのだと思います。

家庭、幼稚園、  
地域など集団の中での  
きまりを知る

子どもたち  
それぞれの成長にあった  
周囲の大人の  
援助が必要

人に対する  
思いやりや物を  
大切にすることを  
知る

社会に適応していく基礎が養えれば

他の人との協調性が身につく



真の協調性とは、自分の考えを持つと同時に  
人の存在を尊重しながらかわりが持てること

# 健全な身体と心の育ちを願って…



わが子がすくすく育つことを願い、保護者の皆様はそれぞれのご家庭の考えで子育てをされていると思います。また、幼稚園生活でも、日々の保育を通して子どもの**生きる力**の基礎を育成するよう努めています。

## 健康な体作り

体を動かし、感覚を磨き、体力や瞬発力、バランスを養う。また自然の中で太陽、土、水、空気に触れることも生物の命の源となります。



## 人の中で生きていく楽しさを知る

友達と遊ぶ中で、おもしろさを共感したり、けんかもしたりしながら、自分とは違う他人を意識し認識する。その上で人と共存していく。



## 生きる力をつける

## 自分の意見を言える力をもつ

自分の意見を持ち、自己主張をすると同時に自己責任をもつことが必要。



## 困難に立ち向かう力をつける

思い通りにならないことや、大小の困難を克服しながら、工夫する力や我慢する忍耐力を培う。



## 子どもたちが生きる力を身につけるために「適切な援助」ができているか大人も考える。

子どもたちを育てていく中で、周囲の大人は温かく見守りながら援助したいものです。未熟な子どもの行動が気になり過ぎて、指導や援助をするどころか、子どもはもとより親まで攻撃する人が増えています。

「Aちゃんは良い子だけど、それは良くないよ」と行為を注意して、全人格を否定する見方をしないようにしましょう。